

校 園 名 : 広島大学附属東雲中学校

〒 734-0022 広島市南区東雲3-1-33

082-890-5222

※ 記載日：平成28年5月24日（火）

記載者：桑田 一也（副校長）

【校風 おおまかな特色について】

新制広島大学発足時に設立され、来年70周年を迎える。

明治40年来、師範学校で伝統的に大切にされてきた精神「不動心」を精神的支柱として、「東雲憲章」を生活信条とした学校生活を通して、人間力育成のために教育活動を推進している。

また、本校には、広島大学附属学校園の中で唯一特別支援学級が設置されている。

◎ 「東雲憲章」

- 一. 自他の生命・人権を尊重し、心身ともに健康な生活を送る。
- 一. 人間・自然・環境・時間を大切にし、愛のある生活を送る。
- 一. 物事に真剣に取り組み、ふり返ることによって、みんなが、共に高め合う生活を送る。

◎ 「不動心」

広島県師範学校のころから受け継ぐ伝統的精神，東雲中生の心の礎石をいう。

※ 現在、「不動心」の碑は東広島キャンパスに移動されています。

【公立学校・教育委員会などへ戻った時の活躍状況】

- ・ 特に追跡調査をしているわけではないが、公立学校の中心的存在として活躍されていることは伝聞によりわかっている。

【魅力のある，特色のある，今後，公立学校へも展開できそうな先導的な取り組み】

① 学部附属共同研究の推進

- ・ 各教科等で、広島大学教育学研究科の先生方と連携をとりながら、教科教育の研究を推進している。

② 研究紀要の執筆

・今年度から、リポジトリ登録を行い検索にて東雲中の紀要がヒットするような工夫をしている。例えば、目次と主題説明の間にキーワード集（日本語・英語）入れる等、工夫している。

③ ひろしまフラワーフェスティバル（ひろしまFF）への参加

全国小・中学校 リズムダンスふれあいコンクールへの参加

（後援：内閣府 文部科学省 東京都教育委員会）

④ 中央研修（独立行政法人 教員研修センター）の積極的参加

・地域社会への還元（公立学校にかえったときにもリーダーとなれるように）

⑤ 国際交流

○ Exprolis Middle School（アメリカ）との姉妹校提携

○ Odeddey School（アメリカ）との姉妹校提携

○ 生徒、教師間交流実施 → グローバル人材の育成に寄与

・8月には、選抜された生徒が上記学校に訪問し、交流活動を実施

※姉妹校受け入れについて、本校生徒に広くホームステイ先を募集し確保することで交流することができている。

本校生徒も、アメリカにてホームステイを体験できている。

・Medoyo 中学校（インドネシア）との提携を結んでいるが、現在、インドネシアの経済事情のため、一時中断している。

※最終的には、Exprolis Middle School が来日したとき（3月）に国際交流ミーティングを実施

⑥ クラスター活動

・1年から3年を6つの縦割り集団にし、（その中には、特別支援学級の生徒を含める）共生の視点を育成するなかで、日常的に様々な活動を実施する。

・メンバーシップ、リーダーシップの育成も目的とする。

（クラスターでの主な活動）

ア 毎日の清掃活動およびクラスター集会

イ 体育祭

ウ 百人一首大会

エ STEP

・4月当初、クラスター活動の基礎、アイデンティティ、帰属意識を高めるための活動

⑦ SMART（修学旅行） 生徒がデザインする修学旅行

- ・生徒自らが設定したテーマをもとに探究的な活動を展開する。
- ・そのために、1年生は広島市内で「Pre Task Trip」 2年生は広島県内広域で「Pre Research Tour」を実施し、最終目標に備えている。
- ・3年生は近畿地方広域で探究活動を実施する。
- ・最終的には、各学年とも探究的活動についてのまとめをし、発表会を設けている。

【地域における存在意義】

○ 地域の教育拠点校

- ・教育研究会、研究開発学校以外にも、県の若手教員の研修の場を提供

平成28年4月15日

各教育事務所長様
各学校長様
各数学科の関係者様

広島大学附属東雲中学校
校長 朝倉 淳
広島県中学校教育研究会数学科部会
部会長 吉賀 忠雄
広島市中学校教育研究会数学科部会
部会長 家本 一郎

アクティブな瞬間とは。。。
それが何につながるのか

広島県中学校数学教育実践研修会(旧第16回県数教育研究会)開催のご案内

各関係者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、本会にご理解ご協力をいただき深く感謝しております。

さて、教育界の人材育成を目指した実践研修会を開催いたします。数学科の先生方にご案内いただき、多数ご参加いただけますよう、ご高配の程よろしく申し上げます。

ぞ!
テーマ **「これがアクティブ・ラーニングの授業 ～なぜ、今アクティブ・ラーニングなのか」**



- 1 後援 広島大学、広島県教育委員会、広島市教育委員会(申請中)
- 2 期日 平成28年6月25日(土)
- 3 会場 広島大学附属東雲中学校
〒734-0022 広島市南区東雲三丁目1-33 TEL:082-890-5232 FAX:082-890-5226

4 日程

13:00	13:30	14:20	14:30	15:00	15:30	16:30
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	交流移動・休憩	講話	

- 5 対象 広島県の数学教育関係者、大学生・大学院生
- 6 内容
 - (1) 公開授業①: 安芸太田町立戸内中学校 丸山 智 先生 3年生「2次方程式」
 - (2) 公開授業②: 広島大学附属東雲中学校 天野 秀樹 先生 同じ内容を30分公開します
 - (3) 講話: 『今、求められる学力・能力 ～数学の授業の可能性～』
現 長野県総合教育センター主任指導主事 新井 仁 先生
(前 国立教育政策研究所教育課程研究センター 学力調査官・教育課程調査官)
- 7 参加費 無料
- 8 参加申し込み e-mail (amanoch@hiroshima-u.ac.jp) または FAX (082-890-5226) にて「所属」と「お名前」を6月23日(木)までに、担当(東雲中:天野)までお知らせください。
- 9 駐車場 本校に確保しています(お気をつけてご来校ください)。
- 10 その他 当日の8:00より情報交換会を予定しております。ぜひご参加ください。
今年度は、12月10日(土)、3月25日(土)にも実施します。(後 県中学校生協研究発表会)

【アクセス】



● JR広島駅より、広島電鉄バス(4番線)「東雲2丁目」下車 徒歩約10分
● JR広島駅より、タクシーで約15分
● 紙屋町・市役所より、広島電鉄バス(7番線)「東雲町」下車 徒歩約15分
● JR向洋駅より、徒歩約20分

【附属学校の存在意義】

一般論にはなりますが、「人材育成」あつての将来の日本だと思っています。教育が衰退していくことは、日本国が衰退していくことと同等です。国の施策として、社会人文科学系は国立大学からなくす、という目先の利益しか考えられない（もしくは余裕がない）現況はどう考えても危機的状況です。

広島大学教育学研究科は、多くのマスター、ドクターの学生を抱えています。文科省は、マスター以上の学生を教員に望む方向にあると思っています。附属学校園は、その学生たちをも育成しています。

また、教員養成は、私学に任せる、という声や、教育実習は、公立学校で、という声が聞こえてきますが、附属学校こそそのノウハウが蓄積されていて、アンケート調査でも満足度の高い実習を提供できていると思われます。

また、本校に公立学校から来られた先生方は、任期を終えられたときには、本校で培われた力を発揮して活躍されていると聞いています。

公立学校とは特長が異なるものの、研修機関として活用していただくことで教員育成機関の役割を果たしたいと思っています。